



# 「ふたば」

令和3年11月5日号

「夢がつながる 学びのエリア」 板橋五小・板橋十小・板橋二中

## 「行動すること」の大切さ

校長 大沼文雄

前号で「次の行動目標は？」と題した内容を載せました。今号では、「行動すること」としました。前号発行以降、各学年の取組から「行動することの大切さ」が伝わってきたことがいくつかあります。今号では、それらをご紹介します。

まずは9年生です。前号で「SDGs講演会」当日の様子をお伝えしました。事後学習では、次のような表現が生徒の書いた文章に載っていましたのでいくつかご紹介いたします。

「私は将来、どのような方法、形かは決まっていますが、人の役に立ちたいです。そして、「人に感謝され、人に感謝できる人」になりたいです。そのためには、エジプトの子どもたちのようにあきらめない心を持ち、自分には何ができるかを考え、進んで行動していきます。

9A U・A さん

「一見、自分に関係のない問題のように思えるけれど、同じ年くらいの子が苦しんでいる、という現実は見逃ごせないなので、日本からでもできることなどを行って、少しでもそういった子供たちの役に立ちたいです。

9B O・C さん

「是永さんのお話の説得力に驚かされました。実際に「行動」を起こした方の話には人を納得させる力が増すのだと思います。ただ考えるだけではなく、その後の「行動」が何よりも大切であることを、再認識しました。

9C I・Y さん

この3人の言葉に代表されるように、9年生の多くの生徒が、今回の講演会をきっかけに、自分のできる範囲で行動し、将来の自分の姿を思い描いたようです。直接、講演を聴いたことで、「行動することの大切さ」を強く実感できたようです。

続いて8年生・7年生の取組からです。

8年生は、10月22日(金)に「職業体験学習」を行いました。当初予定していた「事業所を訪問する職場体験」が実施できず、代わりに学校に来校していただいた9つの職種の体験を行いました。当日は2時間という短時間での体験でしたが、時間の長さにかかわらず、生徒は有意義な体験を積むことができました。8年生は来年度最上級生となり板橋二中を牽引するばかりではなく、1人1人が自分自身の「希望進路実現」に立ち向かっていく立場となります。学年教員は、来年度の進級を前に次の3学期を「進級に向けた0学期」と捉えた取組を計画中です。その8年生にとって自分自身の進路について考えるきっかけとなった取組でした。

7年生は、10月29日(金)に「校外学習～板橋区内めぐり～」を実施しました。こちらも当初予定した校外学習では「公共交通機関利用」を計画していたため、目的地の変更をした上での実施でした。班で昼食をとることも避けた計画のため、8:30に学校登校後出発・12:30までの帰校という計画でした。午前中のみ行動でしたが、「班長を中心に役割分担をしっかりと行い、各自が責任感をもって取り組んでいた。特に、当日の行動では班で協力し合っていた様子を多くの場面で見ることができた。出発から帰校まで誰もが安全に行動できていた点は、大変良かった。」と学年主任が評価したほどのしっかりとした行動でした。

この8年生・7年生の取組の成功の裏には、担当教員の「熱い思い」がありました。それは、計画時が「緊急事態宣言中」ではあったのですが、「生徒には、なんとかできる限りの体験をさせたい」という思いです。計画時に「できない」と簡単に諦めず、「何とかできる方法はないか？」と考え、方向転換しながらも実施に向かって「諦めずに行動し続けた」からこそ、生徒の成長につながれたのだと感じています。

本校生徒が、コロナ禍の中で企画された様々な取組から、「行動すること」の大切さを実感してくれたことは、大変嬉しいことです。教員が生徒に「体験させたい、考えさせたい」と意図したことが、しっかりと実を結んだ取組となったことを、生徒の成長から改めて感じ取ることができます。本校では、今後も「学校の取組を通して体験すること、考えを深めること」を大切にしていきます。そうした取組を通して、生徒を成長させていく学校でありたいと考えています。引き続き、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 学校の様子

### 校内研修会 10月20日(水) 「タブレットの効果的活用」に向けて

タブレットを活用した授業配信を開始して1ヶ月以上が過ぎました。教員からは当初の不安感が薄れ、「どうしたらより良く活用できるか?」といった、意欲的な声を多く聞くようになってきました。そこで、9月中旬に企画した校内研修会では、各教員がさらなるスキルアップを図る内容として、「タブレットをより一層有効活用しよう!」というテーマで、各自のスキルに応じた4グループに分かれた研修としました。意欲的に質疑が飛び交い、4人の講師(指導主事1名、本校教員3名)も大変熱のこもった説明となっていました。板橋区教育委員会から派遣していただいた指導主事は、本校教員の熱心さに感心していたようです。タブレットの利用に関しては、メリットばかりではありません。デメリットもあります。しかし、授業では有効活用することで生徒の学習理解の一助となることは事実です。今後も、こうした研修を重ねながら、授業改善に結び付けて、生徒の学力向上を図っていきます。



### 8年生 職業体験学習 10月22日(金)

学校に9コースの講師を招き、校内でできる範囲での「職業体験学習」を実施しました。

【9コース】 インテリアコーディネーター、気象予報士、システムエンジニア、フラワーデザイナー、入浴剤研究者、アナウンサー、マジシャン、ファッションデザイナー、弁護士

様々なジャンルの職種があります。生徒は、事前に自分の希望によって15人程度に分かれて、コースごとに体験しました。

実際に事業所を訪れての体験学習を企画することができませんでしたが、普段はなかなか体験することのできない職種があり、とても有意義な時間となりました。この体験が、生徒にとって今後の進路選択に結び付ききっかけとなることを期待しています。



「マジシャン」コース

### 学びのエリア 研修会 10月27日(水) 「読み解く力の育成を図る授業実践」

当日は5校時の授業を小学校の先生方に参観していただき、その後体育館で全体会・分科会と協議会を行いました。昨年度、新型コロナウイルス感染症対応のため研究発表会を中止せざるを得なかったため、学びのエリア内で本校の研究成果を共有できたことは、本校の教員にとっても貴重な経験となりました。また、「読み解く力の育成を図る授業実践」に引き続き取り組んでいる本校の授業を、小学校の先生方に実際に参観していただき分科会形式で意見交換できたことも、大変有意義な時間でした。板五小・板十小・板二中、3校では今後も「読み解く力の育成を図る授業実践」を継続して、児童生徒の基礎学力向上を図るために、連携を深めていきます。



## 今後の主な予定 定期考査Ⅲ 11/17(水)～19(金)

11月8日(月)	児童・生徒の学力を図るための調査(9年生) 専門・中央委員会	11月22日(月)	児童・生徒の学力を図るための調査(8年生)
10日(水)	第4期学力向上推進週間(始) 区中研一斉研究授業(⑤カット)	23日(火)	勤労感謝の日
12日(金)	避難訓練	24日(水)	読書キャンペーン(始)
15日(月)	生徒会朝礼	25日(木)	第4回コミュニティスクール委員会
17日(水)	定期考査Ⅲ(理科・英語・美術)	26日(金)	8年生「校外学習」
18日(木)	定期考査Ⅲ(社会・技家・音楽)	29日(月)	児童・生徒の学力を図るための調査(7年生)
19日(金)	定期考査Ⅲ(数学・国語・保体) 給食あり 第4期学力向上推進週間(終)	12月1日(水)	安全指導・安全点検
		2日(木)	教育相談Ⅱ(始～12/8)
		9日(木)	避難訓練
		13日(月)	生徒会朝礼

